

## 植草学園 高校生プレゼンテーションコンテスト 2022 実施要領

### 1. 目的

本学による地域貢献の一つとして、将来の夢に向かって努力している高校生の自己実現を支援するため、学校外での主体的な学習や活動に積極的に取り組めるよう、広く発表の場を提供する。これにより、高等学校・特別支援学校と大学の相互の連携を強め、地域の高校生の育成を図るとともに、地域の県民・市民への啓発、さらには共生社会づくりに資することを目的とする。

開催に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策を十分考慮して実施する。

昨年に引き続いて5回目となる行事である。

### 2. 概要

#### ① テーマ

#### 『理想の共生社会をめざして』

#### ～ 多様性って何？ ～

いま、「多様性」ということばが様々な場面で当たり前のように謳われています。「多様性」とはどのようなことでしょうか。あなたの瞳には「多様性の未来」はどうか映っていますか。私たちは一人ひとり“違い”ます。“違い”のある人どうしが同じ社会の一員として暮らすとき、どんなことが起こるのでしょうか。何が必要なのか。あるいは何が必要でないのか。あなたが考える「多様性」や「多様性の未来」と「共生社会の関わり」について、その思い・実践を聴かせてください。現在自分（たち）が学校や地域などで取り組んでいる活動やグループでの議論の中にそのヒントがあるかもしれません。見つけたこと、実現したいことの道筋を示しながら提案してください。

#### ② 発表時間

テーマに沿って自分（たち）の考えることを7分間程度（上限8分）で発表する。

#### ③ 発表方法

コンピュータソフト、書画カメラ、ビデオなどを利用した表現方法による。

#### ④ 定員

個人または団体の15組。

### 3. 開催日程

令和4年11月12日（土）午前10時～午後2時

10：00～12：00 プレゼンテーション

（昼食・審査）

13：30～14：00 審査発表・表彰

### 4. 開催場所

植草学園大学さくらホール（千葉市若葉区小倉町1639番3）

5. 対象（発表者）

高校生（千葉県内外の高等学校・特別支援学校高等部 1～3 年生）

6. 応募期間・応募方法

先にエントリーを行い、あとから発表概要を提出する。

① エントリー：令和4年6月1日（水）～9月11日（日）

植草学園ホームページから「エントリーシート」をダウンロードして、必要事項（氏名、学校名、学年、テーマ）を記入（入力）し申し込む。

② 発表概要提出：令和4年8月1日（月）～9月30日（金）

発表の概要を600字以内にまとめ、メール、FAX、郵送(当日消印有効)で提出する。

7. 審査方法・審査員

【審査方法】

(予選) 応募者多数の場合のみ実施する。

書類審査…エントリー後に提出の資料をもとに事務局で審査

(本選) 学内及び学外の審査員による評価

評価（内容、表現方法、話し方、動作などの8項目について採点）

特に内容を重視した審査を行う（発表者のオリジナリティや柔軟な発想が、より生かせるような審査基準の見直しを予定）。

【本選審査員】

・学内委員4名

中澤 潤 大学・短大学長、野澤和弘 大学副学長、佐藤慎二 短大こども未来学科長、  
学生代表 照屋宗吾(学友会会長)

・学外委員5名（行政、福祉団体、教育委員会、校長会の関係者）（順不同、敬称略）

齋木 久美子 千葉市若葉区長

浅尾 智康 千葉県教育庁教育振興部長

篠木 賢正 千葉県高等学校長協会会長（県立東葛飾中学校・高等学校長）

青木 隆一 千葉県特別支援学校長会長（千葉盲学校長）

(予 定) 千葉県社会福祉協議会

8. 表彰

グランプリ 1組 賞状、盾、図書カード3万円

準グランプリ 2組 賞状、盾、図書カード2万円

優秀賞 2組 賞状、盾、図書カード1万円

奨励賞 若干組 賞状

参加賞 全員

9. 主催

植草学園大学/植草学園短期大学

10. 後援申請先

千葉県、千葉県教育委員会、千葉県高等学校長協会、千葉県特別支援学校長会、千葉県社会福祉協議会、千葉市、千葉市教育委員会、千葉市社会福祉協議会